



ENY ニュース

「エコペン」は、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田 3-2-37



未来のため、いま選ぼう。

TEL : 023-679-3340

FAX : 023-679-3389

E-mail : eny@chive.ocn.ne.jp

WEB : <https://eny.jp/>

「変えてよいもの、守るべきもの」

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合直樹



新型コロナウイルスも国内ではようやく収束に向かいつつあるようです。問題はこれからです。経済の立て直しはもちろん喫緊の課題ですが「3密」すなわち、密閉、密集、密接を避けることを基本にした新生活様式なるものは、収束後も継続するべきとの話になっています。

単純に「飲み会」をイメージすると、今までのような「差しつ差されつ」の賑やかなのはダメで、「同じ方向を向いて座り、大きな声も出さず、手酌で飲む」といったスタイルになるのでしょうか。そんな飲み会なら絶対参加したくありません。もちろん「オンライン飲み会」など言うに及ばずです。

先日、ある短大の授業でオンライン講義なるものをやりました。何か決定的に欠けているものがあるような気がします。アメリカの心理学者A. メラビアンは、相手とのコミュニケーションを図る上での重要性について、言語情報(話す内容)は全体の7%でしかなく、視覚情報(見た目、身だしなみ、表情、視線など)、聴覚情報(声の質、大きさ、速さなど)の非言語コミュニケーションが93%を占めたと報告しています。コミュニケーションの基本は、やはり「Face to face」であり、日本のおもてなしの文化の基本は「Heart to heart」なのです。

感染者がほとんど0の状況でも3密を継続する必要があるのでしょうか。ワクチンなどが開発され、十分に医学的な治療法が確立された暁には、マスクなど外して、相手の顔を見ながら、握手をして、たまにはハグもして、大いにコミュニケーションを深めましょう。世の中には、変えてよいものと守っていかなくてはならないものがあるのです。

令和2年度 環境ネットやまがた通常総会を開催しました！

令和2年5月30日(土)13:30から、山形エコハウスにおいて、令和2年度通常総会を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、通常総会のみで開催とし、総会後の活動報告会並びに懇親会は、開催を見送らせていただきました。会員の皆様の健康と安全を第一に考えての開催ではありましたが、少し寂しい総会となりました。

総会は、河合代表の挨拶の後、河合代表が議長となり議事に入りました。今年度は来賓の挨拶もなしです。議事は、第1号議案から第4号議案まで、全て満場一致で議決成立し、お陰様で無事に終えることができました。

2019年度も様々なことがありましたが、その中でも最大のトピックスは、エコアクション21でしょうか。地域事務局銀河(岩手県)が地域事務局を返上することとなり、2019年末で銀河が担当していた認証登録事業者を本地域事務局に移管しました。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、積極的に活動して行きたいと考えておりますので、引き続き、皆様のご支援やご協力をお願いします。



～会報誌作成にあたって～

「第22号」の会報誌は、これまでの会報誌と少し変わっています。ページ数を増やし、各担当の方で「2019年度の活動報告と令和2年度の活動計画」をまとめました。(今までと同じじゃないと言われてれば、それまでですが・・・)

毎年通常総会後に開催していた「職員による活動報告会」を今年度は新型コロナウイルス感染防止のため開催できなかったこともあり、それに代えて各自が担当した事業について原稿を作成したためです。

お読みいただければ幸いです。

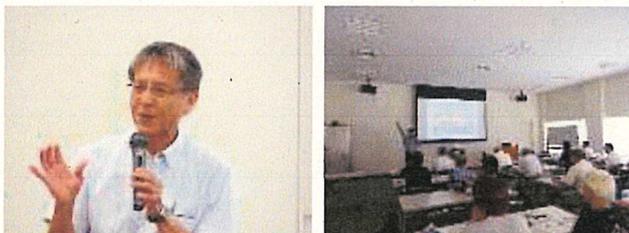


研修会を行いました！

○地球温暖化防止活動推進員フォローアップ研修

毎年、地球温暖化防止活動推進員を対象とした研修会を開催しています。昨年度は8月に開催しました。講師は、認定NPO法人気候ネットワーク田浦事務局長と(株)CSR インテグレーション今田裕美さん、山形県環境企画課です。

参加いただいた方のスキルアップに繋がり、今後の活動にも活かしていただける研修をこれからも実施していきます。



○環境マイスター研修

昨年度、久しぶりに環境マイスターの養成研修を開催しました。家電部門では14年ぶり、サッシ・ガラス部門では11年ぶりの養成研修です。メイン講師は、京都の認定NPO法人環境市民の下村副理事長です。研修と確認テストを経て、新たに39名の環境マイスターが誕生しました。



山形市でのクールチョイス！

昨年度も山形市では、環境省の補助金を受け、「山形まるごと COOL CHOICE 事業」を実施しました。環境ネットやまがたは、その一部を委託事業として受託し、「イベントでの啓発活動」や「講演会の開催」、「大学生等との連携」、「省エネ家電・省エネ住宅の普及」の事業を実施しました。講演会では、「2020年パリ協定スタート！脱炭素社会実現に向けて」と題して、認定NPO法人気候ネットワーク東京事業所長の桃井貴子さんにご講演いただきました。

委託事業としては、COOL CHOICE の賛同が、2,354 件集まりました！COOL CHOICE の認知度も高まってきているかと思えます。



省エネ住宅の説明会開催

令和元年5月、住宅の省エネルギー基準適合率向上のため、小規模の住宅・建築物の新築等の際に、設計者(建築士)から建築主への省エネ性能に関する説明が義務付けられるなど「建築物の省エネ法」が改正されました。

地球温暖化対策のためには、住宅を建てる際には省エネ対策を行うことが欠かせないものになっています。そのため、「改正建築物省エネ法説明会及び住宅省エネルギー技術講習会」を山形県省エネ木造住宅推進協議会(本法人が事務局)主催で、4回開催しました。

予想以上の750名を超える方から参加いただき、その人数の多さに驚きました。



令和2年度 SNSなどを使った情報発信事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各地でのイベントが中止・延期になっていて、これまでに比べイベントでの啓発活動を行うことが、難しい状況になっています。

そのような状況を嘆いていても仕方ありませんので、今年度は、イベントでの啓発活動を行う調整しつつ、他の方法もないかと探しています。まずは、ホームページやSNS(フェイスブック、インスタグラム等)を使った情報発信にこれまでよりも力をいれていきたいと考えています。

皆さんにも参加いただけるような「参加型」で行いたいと思っていますので、実施内容が決まりましたら改めてご連絡します。地球温暖化防止やCOOL CHOICEに関する情報などお寄せください。

「ストップ温暖化エコカップやまがた 2019」の開催、「脱炭素チャレンジカップ 2020」出場

令和元年10月26日「ストップ温暖化エコカップやまがた 2019」の活動事例発表会を開催しました。報告いただいた64団体の中から実行委員会より推薦された8団体の事例の紹介を行いました。

発表団体のうち、「ドリームやまがた里山プロジェクト」に『エコカップやまがた大賞』が、「社会福祉法人陽だまり 認定こども園めぐたま」に『エコカップやまがた実行委員会特別賞』が贈られました。

大賞を受賞した「ドリームやまがた里山プロジェクト」は、令和2年2月19日、「脱炭素チャレンジカップ2020」に山形県代表として事例発表を行いました。内容は、使用済み自動車のエアバッグ・シートベルト等を再利用した「ライフジャケット」の開発です。

大賞受賞には届かなかったものの、三菱総合研究所理事長で実行委員長の小宮山宏氏(第28代 東京大学総長)より、活動意義等に大変な評価をいただき優秀賞が授与されました。

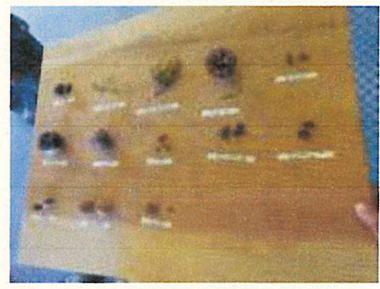


脱炭素チャレンジカップ
小宮山委員長とドリームやまがた里山プロジェクト事務局

体験活動「もいのふしぎをさがしてみよう」の実施

一般の親子や電気自動車のユーザーを対象に、やまがた絆の森「ニッサンの森」(朝日町)をフィールドに、森づくりの大切さや森に親しむ体験活動を実施しました。

間伐の見学や枝打ちの体験、木工工作(種子の実物図鑑づくり)を通して、これまで森づくり活動をしたことのない方々にも、森林の大切さ、楽しさを知ってもらえるような活動を実施することができました。



「山形県における気候変動適応策とSDGs推進セミナー」の開催



昨年12月に山形県環境保全活動支援事業費補助事業として、自治会館において開催しました。今回は、「自然災害に対する適応策とSDGsの理解を進めるためのワークショップ」として、これから想定される様々な気候変動による現象に備えるための緩和策及び適応策についての講演、近年の集中豪雨に備えるためにジオラマを用いた洪水発生時のシミュレーションの実演、そして最後に、SDGsについて理解を深めるためにカードを用いたゲーム方式によるワークショップを実施しました。多くの参加者があり、ほぼ満席で特にカードゲームは大いに盛り上がりました。



「地球温暖化対策普及啓発事業に係るシンポジウム」の開催

本シンポジウムは、東北地方環境事務所からの委託で、東北6県の持ち回りの事業です。1部では国立環境研究所副研究センター長の江守正多氏を招き「気候の危機と私たちの未来」と題して、パリ協定から現在までの地球温暖化の進行状況とこれから予想される地球の様子について講演をいただきました。2部では県内の4つの高校からそれぞれの活動事例を発表していただきその後、ワールドカフェ方式による発表者と参加者がひざを交えての意見交換会を実施しました。

これからの地球環境に関して、これからの時代を担う高校生の意見や考え方が聞けて、とても有意義なシンポジウムであったと思います。



「夏の省エネ県民運動」実施中



今年も山形県では、地球温暖化防止に向けた「夏の省エネ県民運動」が始まりました。この県民運動は、エネルギー消費が増大する夏季において、県民全ての連携・協働による幅広い省エネ県民運動を展開することにより、地球温暖化防止に向け一層の温室効果ガス排出量削減を推進するものです。

無理のない範囲で夏の省エネにご協力ください。

今年は特に熱中症にお気を付けください。涼しい服装にする、こまめな水分補給、日ごろの健康管理…など。環境省では、「熱中症予防情報サイト」で、「暑さ指数(WBGT)の予測値と現在の暑さ指数の推計値」を公表していますので、参考にしてください。

再生可能エネルギー補助金について



県の委託事業として本法人としては3年目になります。補助金申込の受付、一次審査、県への報告、現地調査、手続きに関する相談対応、再生可能エネルギー設備に関する普及啓発等を2名で担当しています。

昨年度から太陽光発電設備への補助金がなくなり、申込み件数は蓄電池設備、ペレット・薪ストーブなどおよそ400件と少なくなりました。昨年度は、蓄電池の補助金が上限 40 万円と前年から倍増したこともあり、また、FIT法(固定価格買取制度)の改正や災害時対応などから蓄電池への関心が高く、申込が集中して 10 月で当初予算に達し、蓄電池の申込を締切りました。また、ペレット・薪ストーブ等の申し込みは、前年より少なくなりましたが、地中熱利用装置の申込は増加し、融雪装置に加え、昨年度は初めて地中熱利用空調装置の申し込みがありました。今後、地中熱利用技術の拡大が期待されます。

令和2年度は、ほぼ昨年度と同じ内容で申込件数もほぼ同数を想定しています。主な変更は蓄電池の補助金の上限が 40 万円から 35 万円に減額されたこと、薪ストーブについて、近隣への配慮から「認証機構から承認を受けていること又は同等の水準」と言う新しい設備要件が加わり、二次燃焼装置がなく煙の出やすい薪ストーブなどは補助対象外となったことなどです。

4 月末から受付を開始していますが、今年度も蓄電池への関心が高く、開始から申込が集中し 5 月 25 日で予算に達し、受付を終了しました。ストーブなど蓄電池設備以外の補助事業については、引き続き受付をしています。



○9つの「山形県環境学習プログラム」完成！

県内での環境学習の普及

地球温暖化、ごみ、自然と生き物、水や森林など、環境について、身近な環境資源を活用して、楽しく効果的に学べる「環境学習プログラム」を作成しました。

放課後子ども教室、放課後児童クラブ、子ども会、PTA 行事、学校、地域や家庭などで環境学習に取り組まれる際などに活用して頂きたいと思います。

各テーマとも、「室内学習(座学)」、「室内学習(工作)」、「体験学習」の3つの学習方法のプログラムとなっています。室内学習(座学)については、指導書(進行シナリオ)とパネル(スライド)等もありますので、誰でも気軽に使えます。

プログラムのテーマは9つあります。



詳細を知りたい方はホームページやパンフレットをご覧ください。

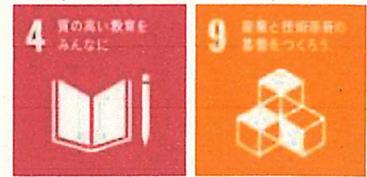
山形県環境学習プログラム

検索

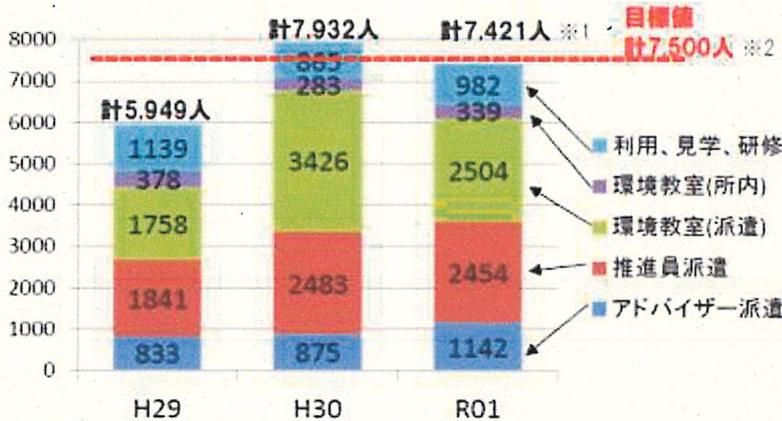
○山形県環境科学研究センターでの活動について

県内での環境学習の普及

山形県環境科学研究センター情報棟の管理運営を行うとともに、環境学習や教育の支援、再生可能エネルギー施設の案内、情報の収集・発信、相談対応等を実施しました。



■環境学習施設利用者数(実績)



※1 【新型コロナウイルス感染拡大による影響】

企画中止案件の参加予定人数⇒「計 510 人」

※2 目標の設定: 第3次山形県環境計画を参考

基本目標: 環境教育を通じた環境の人づくり

管理指標値: 環境学習施設利用者数(=西川町大井沢自然博物館+山形県環境科学研究センター)

(目標値) R02 17,000 人

西川町大井沢自然博物館は、例年おおよそ 10,000 人とのことから、「目標値」を 7,500 人としています。

■件数(実績)

	H29	H30	R01
アドバイザー派遣	23	27	32
推進員派遣	45	51	46
環境教室(派遣)	48	95	78
環境教室(所内)	20	17	15
出展・自主事業等	16	10	8
合計	152	200	179

※R01: 新型コロナウイルス感染拡大による影響による企画中止案件⇒「計 12 件」

■環境教室の風景



2019.11.12 寒河江市立白岩小学校 3年生理科
段ボールリサイクル工作「エアクーリング」

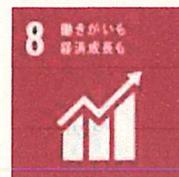


2019.12.02 寒河江市立白岩小学校 3年生図工
木工クラブ「フォトフレーム」

【令和2年度事業計画】

1. テーマの選定 「環境教育普及促進」事業が毎年継続的に発展すること！
2. 目標の設定 「環境学習施設利用者数」実績が毎年前年度実績を上回ること！
目標値：7,500 人 (チャレンジ目標値 8,000 人)
3. 達成手段
 - 3.-1 小学校向け環境教室実施件数を増やす
 - ① 実施学校数を増やす H29 16 校、H30 21 校、R01 24 校 ⇒ R02 目標 30 校
・県内約 240 校向けの情報配信として e-mail を活用し、PR 回数を増やす！
 - ② PR 方法の改善
・動画配信システム(小学校授業の補完ツール)の開発～普及により、HP アクセス件数を増やしつつ、県環境科学研究センターの認知度を高める。
 - ③ 環境教室メニューを増やす
・小学校教科書の全科目・全単元を確認し、新メニューを開発する！
 - 3.-2 教育委員会・公民館向けと放課後児童クラブ向け件数の維持
 - ① リサイクル工作・木工クラブの新メニュー開発
新商品開発キーワード…『なかなかない普通の技術』
 - ② 口コミ営業展開の継続

オール東北！エコアクション21事業について



■事業報告

①地域事務局「銀河」地域事務局返上に係る登録事業所の移管について
地域事務局「銀河」の地域事務局返上に伴い、2020年1月から東北六県の窓口業務や普及啓発活動を実施しました。

②認証・登録事業所数

全国の認証・登録事業所数(令和2年5月18日現在)…7,752件

環境ネットやまがた認証・登録事業所数(令和2年3月31日)…368件

	事業所数	内山形県	内山形 EA21
環境ネットやまがた	146	66	45
「銀河」移管分	221	0	-
ふじのくに(静岡)移管分	1	0	-
登録数累計	368	66	45

③山形エコアクション21認証・登録制度の廃止について

山形県では平成17年から、エコアクション21認証・登録制度に山形県独自の6項目を上乗せした「山形エコアクション21認証・登録制度」を実施してきましたが、取組内容が時代にそぐわなくなってきたことなどから、今の時代に合った企業に魅力のある制度への見直しが必要との考えに至り、令和2年3月31日をもって廃止することになりました。エコアクション21認証・登録制度は、引き続き山形県様と協力し推進して参ります。

■事業計画

①エコアクション21「中核地域事務局」の承認を受けました。

令和2年4月1日から「中核地域事務局」「普通地域事務局」「基礎地域事務局」いずれかの事務局に振り分けられ、それぞれの業務を担当します。当事務局は「中核地域事務局」の承認をうけ、東北6県の窓口業務や普及啓発活動を行います。中核地域事務局は全国10地域事務局が承認を受けました。東北各地の審査員等をメンバーに「普及戦略会議」を立ち上げ東北各地での普及を目指します。



全国交流研修大会 in くらしき
持続性推進機構 安井理事長と

山形県環境保全協議会の活動

山形県環境保全協議会は、経済と環境の両立という理念に立ち、県内の202社で構成しています。

令和2年度の活動

- ・山形県地球温暖化防止県民運動に参加協力します。
- ・研修会やセミナーを開催します。
- ・被災地域の復興支援活動や森林整備活動を行います。
- ・環境に関する最新情報の収集と発信に取り組みます。

「令和2年度山形県環境保全推進賞」受賞企業が決定しました！！

知事賞：株式会社モス山形(山形市)、リコージャパン株式会社山形支社(山形市)

環境保全推進賞：NECエンベデッドテクノロジー株式会社(南陽市)、株式会社クリーンシステム(山形市)

山形精密鑄造株式会社(長井市)

選考委員特別賞：安藤組グループ(庄内町)



被災地域の復興支援活動

今こそ！省エネ省エネルギー相談山形県プラットフォーム事業

令和元年度の省エネルギー相談山形県プラットフォーム事業は、平成29年度から始まった事業で3年目の節目の年でした。山形県内の中小企業を対象とした省エネセミナーの開催(村山地区・庄内地区)と省エネに関わる専門家の派遣を実施しました。なかには、企業内の省エネ委員会の皆さんと一緒に状況把握を行い省エネ改善に結びつける活動を10回行った事例もあります。企業からの相談は20社と前年を下回りましたが、訪問回数は平均3.5回と前年を上回る結果となり、単に省エネ診断と提案で終わらずに、実施に向けたレベルアップが図られたのではないのでしょうか。事業予算は、約700万円に対して98%を消化して終了しました。

令和2年度の事業計画としては、企業の実態に沿った相談に答えることを目標に各案件に即した専門家を派遣して問題解決を図りたいと考えています。現在、既に前年から引き続きの企業を含め、10社程度の相談予約を頂いています。



〇2019年度の活動写真



通常総会



県民運動推進大会



保全協夏休み会社見学会



EA21 審査人力量向上研修会



保全協復興支援活動



産業科学館での環境・工作教室



環境フェアつるおかでのブース出展



エコカッやまがた活動事例発表会



朝日産業まつりでのブース出展



環研センター環境教室



産業科学館でのリース作り



新庄雪まつりでのブース出展

YouTube、Instagram始めました。

〇山形県環境科学センター 〇山形県産業科学館



YouTube



Instagram



Twitter

皆さま、ぜひご覧ください

環境ネットやまがたの
フェイスブックも
よろしくお願いします！



★スタッフ紹介&お知らせ★ それぞれの活動場所ごとに一言コメントやお知らせなど。

<山形エコハウス 2階>



(大場事務局長)
今年度は新型コロナウイルス感染症のため不透明感がただよっています。気を引き締めて活動に臨みます。



(伊藤事務局長次長)
エコハウス近くの千歳山、瀧山などに登ります。山歩きはストレス解消に最高です。足腰を鍛え、今年もがんばります。



(長岡事務局長次長)
昨年7月よりお世話になっておりますが、まだまだ慣れません。今後も皆様のご指導をお願いいたします。



(河合主任)
私事ですが…9月頭に出産を控えており「38歳 高・齢・出・産」のため(笑)少し早めですが7月から産休に入ります!!



(二藤部主任)
4,5月はほとんど外出がなく、事務仕事がかどりました。毎年、会議や協賛依頼で飛び回っていたのがうそのようです。



(金澤)
自粛中に「真っ白なパズル」にチャレンジしました。“忍耐力”をトレーニングするのにぴったりだとか…(全然完成しそうありません)



(大仲)
昨年度の事業が無事に終了して安心していた矢先の新型コロナウイルスの問題で新年度の見通しが立たない状況で大変困惑しています。

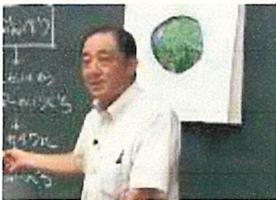


(菊地)
年々暑さの厳しくなる夏に悩まされているのですが、今年はマスク常用のため、すでに限界を迎えつつあります…



(阿部)
今年の緑のカーテンはゴーヤと室内で越冬できた2年目のパッションフルーツで作ります。昨年より多く収穫できるよう世話していきます。

<山形県環境科学センター 情報棟>



(安藤)
これからも環境教育の普及促進がんばります。



(佐藤)
新型コロナウイルス感染防止のため閉館しておりましたが、5月11日から開館しました。皆様にはご迷惑おかけいたしました。気持ちも新たに全力を尽くして参ります。

<山形県産業科学館>

●「科学道 100冊ジュニア」 SNS で1冊ごとに紹介中

山形県産業科学館では、「科学道 100冊ジュニア」を2019年4月から設置しております。子どもから大人まで手にとって見ていただいて、人気のコーナーになっています。これまで、これらの本を活用した研修会やワークショップを開催しております。山形県の SNS で、本を順次紹介しておりますので、ご覧ください。

●「科学道 100冊 2019」新規設置しました

2020年4月に購入したのが、「科学道 100冊 2019」。こちらは、従来の100冊の内50冊(クラシック)に、元祖ハンター、美しき数学、科学する女性、の50冊を新たに加えたのが2019年版。現在、2階フリースペースの360°島にした本棚に設置されています。現在2階は、新型コロナウイルス感染拡大防止により公開されていませんが、開館の際にはぜひご覧ください。



入会のご案内

- 正会員：入会金 5 千円、年会費 5 千円
- パートナー会員：年会費 3 千円
- 賛助会員：一口 1 万円で一口以上何口でも可
本 NPO へ入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

★メルマガ・フェイスブック開設しています★

環境ネットやまがたでは、メルマガ(月1回配信)やフェイスブックでイベントなどの情報を配信しております。メルマガ購読希望の方は以下のアドレスまでご連絡ください。

Email eny@chive.ocn.ne.jp

また、フェイスブックではイベント会場などからアップしておりますので、環境ネットやまがたの日頃の活動がよくわかると思います♪

♪編集後記♪

いつもよりボリュームがある22号はいかがでしたでしょうか。カラー版は、ホームページで公開していますのでぜひご覧ください。